

手機織機を使用してオリジナルコースターを製作しよう！

熊本工業高校 繊維工業科

熊本工業高校繊維工業科では、高校生が講師となり地域の中学生を対象にもものづくり講習会を実施しています。今回は、7月23日（木）に21名の参加でオリジナルコースターを製作しました。この作品は、手機織機と呼ばれる道具を使用して製作します。手機織機とは、昔話鶴の恩返しで鶴が自分の羽を紡いでおじいさんおばあさんにお礼の布を作っていたときに使っていた道具を思い浮かべてもらえるとわかりやすいかと思います。近年では、私たちの身の回りに溢れる布製品の多くが自動の織機で作られており、私たちがその製作工程に触れる機会はほとんどありません。繊維工業科では実習等で手機織機を使ってものづくりのおもしろさや奥深さについて体感する授業を行うとともに、将来の工業を牽引する人材を育てています。今回は中学生の皆さんに講習会に参加してもらい、実際に自分の手で製作することで、ものづくりのおもしろさに触れていただきました。以下に講習会の流れを紹介します。



織成

てばたしよつき
手機織機

講習会の流れ



高校生講師が説明をしている様子です。



色系選び

20本の束になった色系を最大5組選ぶ



糸通し

ヘルドおさと箆おさに糸を通します。この作業をすることで糸をまっすぐにします。



ヘルド



完成

グラスや花瓶の下に敷いて使用します。



端末処理

織機から取り出し、端末処理を行います。



よこ糸を通し、織る

シャトルおさによこ糸を準備し、たて糸に交差させて織っていきます。

シャトル



今回は3時間の短い講習会でしたが、高校生は教えることの難しさを学び、中学生はものづくりの楽しさを学んでくれたことと思います。高校生も中学生も、これから将来を決定する大切な時期を迎えます。今回学んだことをこれからの人生に少しでも役立ててくれることを願っています。

また、今後も繊維工業科では、夏休み等を利用してものづくり教室を行っていきます。繊維工業科は熊本県では1校しかなく大変貴重な学習や技術習得ができる学科です。興味のある方はぜひ次の機会にご参加ください。お待ちしております！